



RI 第 2 6 1 0 地区

東となみロータリークラブ会報

2013-2014 年度 No. 4 4

事務局 〒939-1635 富山県南砺市福光 7336-4 福光会館 3F

ふくみつ光房内 TEL 0763-53-1333 F A X 0763-53-1334、

inashorc@athena.ocn.ne.jp

2013-2014 年度 会長 水島政光、幹事 三角信行

2013-2014 年度 RI テーマ



「ロータリーを実践し
みんなに豊かな人生を」
(ロン D. パートン会長)

例 会 記 録

第 1 7 2 1 回例会

平成 2 6 年 5 月 2 1 日(水) よいとこ井波

1. 点 鐘 : 会長
2. ソング : 四つのテスト
3. ゲスト : 田中幹夫氏(南砺市長)
4. ビジター : 片山道代君・西川雄策君(南砺 RC)

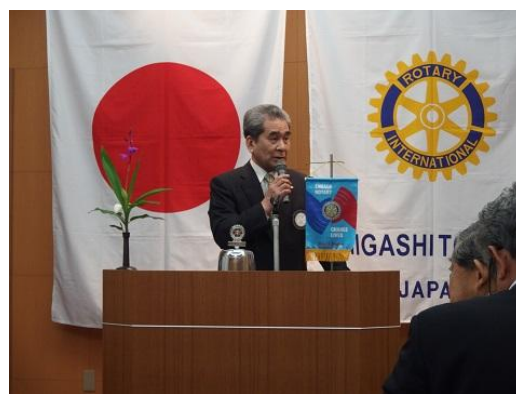


5. 新会員推薦者 認証ピン贈呈 : 斎藤彰 君



6. 会長の時間 : 田中市長、西川様、ようこそ。昨年地区

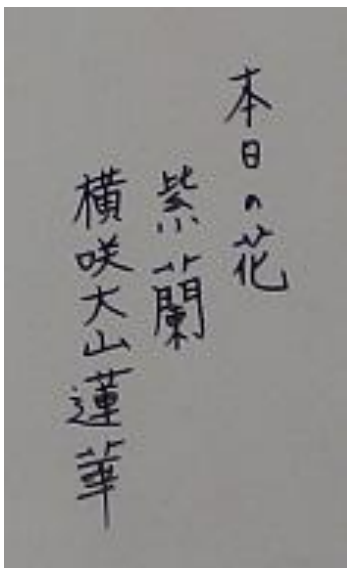
大会、かけがえのない病気の友人との約束の旅行の為、欠席しましたが、その友人が、血液のガンで亡くなりました。若い人なら治る病気でしたが、年齢が高いと難しいということでした。お通夜と葬儀にでました。それで、調べましたが、通夜というのは、故人の魂が、まだこの世に未練があつて、ふらふらしているので、此方に呼んで1晩近親者と過ごすもの。葬儀というのは、24時間以内では、細胞がまだ死んでいないので、それ以上経過してから行うものだそうです。



7. .幹事報告 : ①第 2610 地区ローターアクト(石川・富山)第 36 回年次大会の御案内:大会テーマ『Joy&Fun』
日時、6 月 14 日(土)15 : 00 開会、金沢国際ホテル。
②例会変更は事務局に確認してください。



7. 委員会報告：①浅田親睦委員長：4月12日観桜会に会計報告、会員5000円、家族4000円。5月30日に引き落としします。②出席委員会：19名中13名出席：68.42%



(本日の花：河合会員提供)

9. ニコニコBOX(SAA：本日6名)

河合会員：西川さん、田中市長、ようこそ。白い花、横咲大山レンゲはお茶席で最高級の花と言われています。田中市長に敬意を表す気持で持参しました。

三角幹事：田中市長様、本日はようこそおいで下さいました。

坂井会員：田中市長、ようこそお越しいただきました。有難うございました。卓話楽しみにしております。

斎藤会員：新会員推薦の表彰、有難うございます。これは、今年度からのプログラムですが、こういう制度もあるということで、僭越ですが、受けさせて頂きました。

山本武夫会員：南砺市長田中幹夫様、ようこそいらっしゃいました。卓話を宜しく申し上げます。水道水フロリデーションの研修を横須賀基地でも計画しております。前議長と是非、御参加下さい。

中島会員：水島年度の例会、あと5回となりました。休まず出席したいと思います。



卓話「新たな発想。新たな発信の時代。」

南砺市長 田中幹夫氏(紹介者：浅田会員)

田中市長：北陸新幹線の金沢延伸やツイッターなど SNS の時代、新しい時代の到来にこのままでいいのかと、言われています。今後、この南砺市を含むこの地域をどう考えていくのか、大変重要です。

先日、「美味しんぼ」の漫画で、福島原発問題が取り上げられました。福島の人たちはどう考えているのかを、考えた時、彼らは、風評被害よりも、根本的には、風化の方が怖いそうです。結構割り切って、忘れられたくない気持ちが高く、私の知っている南相馬市の人も、影響力のあるマンガで取り上げられて良かったと感じたようです。

また、先日の韓国のフェリー転覆事故やトルコの炭鉱事故が、なぜ大きな問題になったかという点、そこには日本にも過去にあった、利益優先の市場原理主義があり、営業利益の為には、コンテナを過積載し、安全軽視と言われてもやってしまうことがあります。日本でも、高速バスの問題やユッケの生食の問題があり、死者が出て、ルールが変わっていきました。日本と韓国の違いは、日本ではルールが変われば、守るけど、韓国は守らないと言われていいます。これが、今問題になっています。

日本でも、終戦直後は復興ということには一丸となって立ち向かいましたが、現在、リーマンショックや東日本大震災などの後は、残念ながら、復興しようとする力が弱く、国民の気持ちも薄れています。これが課題です。

近江商人の売り手良し・買い手良し・世間良しという「三方良し」という考えがあります。この考えをこれから南砺市にも活かしていきたいと考えています。つまり、住民良し・行政良し・世間良しというもので、これに、未来良し

を加えた「四方良し」で取り組みたいと思います。少子化が進み、超高齢社会に突入し、多分大丈夫だろうという時代は終わり、未来を何とかしなければならない時代に突入しています。日本創生会議という機関の発表では、このままいけば、将来日本の半分以上の行政がなくなると言われています。その基準は、15～65歳の生産人口と、20～39歳の女性の人口で、その数が少ない地域を無くなる(消滅する)としたわけです。富山県内では、5か所(朝日町・入善町・氷見市・小矢部市・南砺市)が挙げられ、2040年に20～39歳の女性が1万人を切る所がその地域とされ、南砺市も現在54000人の人口が2040年には32100人に減少すると言われてます。特にその20～39歳女性が61%減るとされています。

これから、この南砺市をどうするか、若い人をターゲットに施策を進めていかねば未来はないと、「婚活」や「定住促進」などを、総合的に全ての企業が連携していくようにプランを作成します。つまり、エコビレッジ構想も地域を元気に、我々の持つ可能性を高めるもので、例えば、われわれの高齢社会が抱える問題は、世界に発信していける先輩としての忠告になる、つまり、日本から世界に発信できるということで、我々の存在価値を高めることにもなります。新幹線の開通は、都市との連携を図るチャンスです。南砺市・砺波市といわず、この地方全体で、我々が持っている観光資源・芸術・歴史のいいものをどんどんPRしていくことが大事になります。

ロータリークラブの皆さんのお力も頂きながら、南砺市・砺波市そしてこの地域全体を一緒に高めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。